

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	メロディー		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 20日 ～ 2025年 2月 28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	4
○従業者評価実施期間	2025年 1月 20日 ～ 2025年 2月 28日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11 (回答者数)	11
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援に満足し、子どもは通所を楽しみにしている 安心して過ごすことのできる居場所づくり、環境設定	【楽しみな気持ちでメロディーに来所し、楽しかった！という気持ちで帰宅する】を第一目標とし支援を行っている。 安心できる居場所として基盤を築いた上で、楽しみながらステップアップができるよう、個々に合わせた支援を行っている。	ご自宅、学校、その他関係機関との連携を強化し適切に情報を共有することで、子どもたちひとりひとりの特性やとりまく環境などへの理解を深め、安心感や信頼関係の強化を図っていく。
2	子どもたちが活動する場所が十分に確保され、本人にとって過ごしやすい環境で、バリアフリー化の配慮がなされている		
3	日々の活動が、固定化しないように、工夫されたプログラムを実施している。		

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	認定こども園などの交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある。	「分からない」という回答が多くみられた。公園で地域のお友達と遊ぶ等、実際に行ってはいるが、その内容をしっかり伝えることができておらず、不透明になってしまっていると予想される。	日々の情報共有や引継ぎを強化し、活動内容や様子をしっかりと伝えすることで「分からない」という回答を減らすことができるよう努める。
2	保護者に対して、面談や育児に関する助言等の家族支援が行われている。また、父母の会の活動の支援や、保護者同士の連携が支援されている。	保護者会の開催はしているが、頻度が少なく参加人数にも限りがある。	個人面談だけでなく、保護者様同士誘い合わせてもらい、座談会のようなグループでの面談なども行い、メロディーが中心となることができるような交流を深めていきたい。
3	個別支援計画には具体的な支援内容が設定され、支援内容の説明を受け、計画に沿った支援ができています。	平均としては高いが、「やや満足している」という回答が多くみられた。アセスメント不足や、日々の情報共有・引き継ぎが不足していると考えられる。	モニタリング時期だけでなく日々のヒヤリングやアセスメントを強化し、よりご本人・保護者様のニーズに合わせた支援を行うことができるよう努める。